

報道関係者各位

2009年2月4日
日本ネティーズ株式会社

日本ネティーズ、DWH アプライアンス向け地理空間データ拡張機能を発表

～Netezza Spatial がロケーション・インテリジェンスを実現～

データウェアハウス（DWH）アプライアンス業界のグローバル・リーダーである日本ネティーズ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：ダグラス・エツツェル、以下、ネティーズ）は2月4日、DWHアプライアンス「ネティーズ・パフォーマンス・サーバ（Netezza Performance Server：NPS）」向けに地理空間情報・データ処理を可能とする機能拡張ソフトウェア「Netezza Spatial」を発表しました。

製品の背景：売買取引、携帯電話そして自然災害から犯罪発生にいたるまで、昨今、地理空間に関する情報があらゆるところに存在しています。これらの情報には必ず、関連する地理上の場所（顧客の所在、店舗位置、道路、都市など）が伴います。企業は、従来のビジネスデータに加え、この地理情報を活用することでより高度かつ多角的な分析が可能となり、今後のビジネス分析・シミュレーション等での本格的な活用が期待されています。

地理空間データ処理の課題：近年のDWHに対する分析クエリ処理も、対象となるデータ量の増大によって、複雑化の傾向がありますが、地理空間データ処理とその分析クエリの複雑さはそれをさらに上回るものです。ロケーション・インテリジェンス・アプリケーションは演算負荷が非常に高く、データウェアハウスに多くの処理能力を追加する必要があります。従来のDWHで多くの分析クエリに対応するにはパフォーマンスが不足しており、大規模なチューニング、インデックス、集約表の作成が不可欠となり、さらに保守コストがかさむ結果となります。大量の空間データの分析はこれよりもはるかに複雑で管理が難しく、入念なチューニングや管理を行ったとしても十分なパフォーマンスが得られず、トータル・コストが増加する傾向にあります。

Netezza Spatial：Netezza Spatialは、DWHアプライアンスの「パフォーマンス」「簡易性」「低TCO」という特長をそのままに、膨大な地理空間情報の処理を実現するオプション・ソフトウェアです。DWHアプライアンス（NPS）は、データベース、サーバ、ストレージをコスト効率に優れたシンプルかつ高速な1台のデータウェアハウス・アプライアンスに統合することで、従来のBI分析にあったボトルネックを解消しました。そして今回、NPSシステム拡張機能である「Netezza Spatial」により空間データの型、空間情報を処理するSQL関数が、NPSに実装されロケーション・インテリジェンス分野にも同様の付加価値：パフォーマンス、簡易性、低TCOを提供することが可能となります。Netezza Spatialは「FAST Engine フレームワーク（注1）」が牽引するストリーミング・アーキテクチャにより実現しています。各並列ユニット（SPU注2）に搭載されるFPGA（注3）はディスクから読み出されたデータの絞り込みやデータ圧縮だけでなく、動的な再構成が可能であり、FPGAに組み込まれた各機能を変更、拡張できるようになっています。今回のNetezza Spatialもこのフレームワーク上で拡張・実装されることで、地理空間データの並列処理が可能となっています。

今回追加拡張された Netezza Spatial により、従来の BI システムと地理空間データとが統合され、かつ高速に処理することが可能となり、あらゆる業界で NPS と地理空間情報システムが活用されることが期待されます。

出荷・価格について : Netezza Spatial の国内出荷は 2009 年 4 月を予定しています。オプション価格については別途、お問合せ下さい。

注 1 : FAST Engine フレームワーク

FAST (FPGA Accelerated Streaming Technology) Engine フレームワークの略。データ処理機能の動的再構成を可能とする LSI (FPGA) によるストリーミング処理を実現するネティーザのアーキテクチャの中核となるフレームワーク。

注 2 : SPU

Snippet Processing Units: スニペット・プロセッシング・ユニットの略。NPS 内部の最小ユニットであり 1 システムあたり最大 896 個が構成可能で各ユニットが並列でクエリ処理を実行する。ユニットには CPU、メモリーのほかに FPGA、ディスクドライブが搭載されている。

注 3 : FPGA

Field Programmable Gate Array の略。プログラム可能な LSI で論理回路を動的に再構成することができるデバイス。NPS では前述の SPU に組み込まれ、データをディスクからの読み込み速度でデータの絞り込みや圧縮などを行う。

ネティーザ (NETEZZA Corporation) について

Netezza (NYSE Arca: NZ) は、拡張する企業のビジネス・ユーザによる高度な分析を支える、データウェアハウス・アプライアンスのグローバル・リーダーです。データウェアハウス・アプライアンスにより、今日の情報集約型の市場において、競争性と操作性を兼ね備えた大きなアドバンテージを得ることができます。データウェアハウス・アプライアンスである Netezza Performance Server (R) (NPS (R)) ファミリによって、非常に複雑なデータウェアハウスや難しい分析に対するアプライアンスが簡素化されました。Netezza アプライアンスの利点を活用されているお客様には、Ahold、Amazon.com、CNET Networks、Debenhams、Department of Veterans Affairs、Epsilon、Neiman Marcus、Orange UK、Premier, Inc.、Ross Stores、Ryder System, Inc.、The Carphone Warehouse、米国陸軍、Virgin Media などがあります。Netezza は、米国マサチューセッツ州マールボロに拠点を置き、ワシントン DC、英国、日本、アジア太平洋にオフィスを構えています。Netezza の詳細については、弊社のホームページをご覧ください : www.netezza.co.jp

Netezza Performance Server (NPS) について

NPS は高度なパフォーマンスとテラバイト級の分析機能に特化した Netezza Performance Server システムは、リレーショナルデータベース、サーバ、ストレージを並列アーキテクチャ上で統合し、コンパクトで電源効率に優れた単一ユニットを実現しています。その最大の特徴は、特許取得済の Intelligent Query Streaming™ 設計です。Netezza ではデータ処理機能をディスクの近接部に搭載しており、分析はデータが読み込まれる速度 (ストリーミング速度) で実行されるため、従来のシステムに比べて 10 倍から 100 倍もの圧倒的なパフォーマンスを低コストで提供します。

【お問合せ先】 日本ネティーザ株式会社 マーケティング本部
TEL: 03-5456-4557 / FAX: 03-5456-4552 URL www.netezza.co.jp/